平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月11日

上 場 会 社 名	株式会社　プレナス		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	9945	URL	http://www.plenus.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)塩井　辰男	
問合せ先責任者	(役職名)経営管理室長	(氏名)丸山　俊也	(TEL)092(452)3678
四半期報告書提出予定日	平成25年１月11日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第３四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年11月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第３四半期	105,094	12.6	4,436	△0.6	4,725	△1.7	1,769	12.1
24年２月期第３四半期	93,321	1.9	4,463	14.3	4,805	16.0	1,578	△9.9

（注）　包括利益　25年２月期第３四半期　1,762百万円(12.2%)　24年２月期第３四半期　1,571百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年２月期第３四半期	46　30	46　21
24年２月期第３四半期	41　32	41　27

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第３四半期	78,988	56,087	70.8
24年２月期	78,505	56,185	71.4

（参考）　自己資本　25年２月期第３四半期 55,940百万円　24年２月期 56,088百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年２月期	―	25　00	―	25　00	50　00
25年２月期	―	25　00	―		
25年２月期(予想)				25　00	50　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	142,700	12.3	6,400	2.0	6,800	1.6	2,800	42.8	73　28

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　　、除外　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付書類P.５「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期３Ｑ	44,392,680株	24年２月期	44,392,680株
②　期末自己株式数	25年２月期３Ｑ	6,182,480株	24年２月期	6,182,480株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期３Ｑ	38,210,200株	24年２月期３Ｑ	38,210,200株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 5
（４）追加情報 ……P. 5
３．四半期連結財務諸表 ……P. 6
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P. 10
（４）セグメント情報等 ……P. 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかに回復しつつありましたが、海外景気の減速傾向が強まり、生産や輸出が減少する等、次第に厳しさが増してまいりました。

当外食産業におきましては、個人消費が弱含む中、企業間の競争激化や家計の負担増等に対する先行き不安感等から、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、さらに幅広い層のお客様にご支持いただけるよう商品力の強化を図ると共に、引き続き店舗のＱＳＣ(品質、接客、清潔感)向上、及び効果的なキャンペーンの展開に努めました。

国内における店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に新規出店を148店舗、退店を26店舗行い、店舗数は2,904店舗となりました。また、改装・移転につきましては、78店舗実施いたしました。海外における事業展開につきましては、６月に大韓民国において、「Ｈｏｔｔｏ Ｍｏｔｔｏ(ほっともっと)」を初出店いたしました。

なお、当社グループでは、事業活動の中で地球環境に配慮・貢献するために、店舗における使用済みのフライ油を配送用トラックの燃料に再利用するしくみ(「フライ油リサイクルシステム」)を導入しております。これまでの九州・山口エリアに加え、10月より新たに東日本エリアでも取り組みを開始いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、1,050億94百万円(前年同期比12.6％増)、営業利益は44億36百万円(前年同期比0.6％減)、経常利益は47億25百万円(前年同期比1.7％減)、四半期純利益は17億69百万円(前年同期比12.1％増)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことや既存店売上高が堅調に推移したことにより、前年同期実績を上回りました。営業利益・経常利益につきましては、売上高が増加したものの、仕入れコストの増加等により前年同期実績を下回りました。なお、四半期純利益につきましては、特別損失として当第３四半期連結会計期間において訴訟損失引当金繰入額13億39百万円を計上したものの、前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失16億43百万円を計上していたこともあり、前年同期実績を上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントを「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングＭＫ事業」へと変更いたしました。(詳細は、11頁「２．報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。)

以上により、各セグメントの業績の前年同期比較は、前年同期実績を変更後の報告セグメントに組替えたうえで計算しています。

【ほっともっと事業】

「幕の内弁当」をさらに幅広い層のお客様にご利用いただくことを目指し、春と秋にそれぞれの季節に合わせた「幕の内弁当炊き込みごはん無料変更サービス」を実施すると共に、女性やヘルシー志向のお客様のニーズに対応した「花・幕の内弁当」を発売いたしました。また、「塩から揚弁当」を改めてお客様に訴求することを目的としたキャンペーンや、平日お昼に「のり弁当」を値下げするキャンペーンを実施する等、定番商品の売上向上に努めました。そのほか「新・ビーフステーキ弁当」「カキフライ御膳」等、幅広いお客様のニーズに対応した商品を発売し、さらなる顧客層の拡大を図りました。これらにより、既存店売上高は、前年同期比103.8%となりました。

店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に、新規出店を124店舗行うと共に、不採算店舗等の退店を23店舗行った結果、店舗数は101店舗増加し、2,667店舗となりました。改装・移転につきましては、72店舗実施いたしました。

また、今後の出店戦略とフランチャイズ展開の推進を図るため、加盟者の開業資金の負担を軽減した新たなフランチャイズ制度(「ユニットＦＣ制度」)を設立いたしました。この制度を活用し加盟店の割合を高めていくために、新規加盟者の募集を強化する等、今後に向けた取り組みを開始いたしました。

以上の結果、既存店売上高が継続して前年同月を上回る等堅調に推移し、売上高は876億53百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は39億27百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

【やよい軒事業】

食材や商品のボリュームにこだわったメニューを提供すると共に、季節感や郷土料理を取り入れたメニューを発売し、お客様の満足度を高めることにより、他店との差別化を図りました。また、テレビＣＭを放映し「やよい軒」の認知度を高めて新規顧客の獲得を図ると共に、キャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。さらに携帯電話で会員登録していただいたお客様に、新商品・キャンペーン等のお得な情報や店舗でご利用いただける限定クーポンを配信する「やよい軒モバイル会員サービス」を開始いたしました。これらにより、既存店売上高は、前年同期比102.6%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を20店舗行う一方、退店を１店舗行った結果、19店舗増加し、209店舗となりました。なお、改装を６店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は151億91百万円(前年同期比16.6%増)となりましたが、営業利益は仕入れコストの増加等により５億88百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

【しゃぶしゃぶダイニングＭＫ事業】

季節に合わせたメニューを発売し、メニューの幅を広げると共に、カード会員向けに販売促進活動を行う等、既存顧客の来店促進を図りました。また、テレビＣＭを放映し、認知度を高めて新規顧客の獲得を図ると共に、店舗のＱＳＣのさらなる向上に努めた結果、既存店売上高は、前年同期比101.9%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を４店舗行い、28店舗となりました。

以上の結果、売上高は22億46百万円(前年同期比31.6%増)、営業利益は39百万円(前年同期は23百万円の営業損失)となりました。

【その他】

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業がありましたが、該当店舗が３月31日に全て退店したため、売上高は２百万円、営業損失は２百万円となりました。

なお、前第３四半期連結累計期間の実績は、売上高は78百万円、営業利益は16百万円でした。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ４億82百万円増加し、789億88百万円となりました。内訳は、流動資産が33億27百万円減少したこと及び固定資産が38億９百万円増加したことであります。流動資産の減少は、現金及び預金が43億31百万円減少したこと、商品及び製品が９億４百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が20億15百万円増加したこと、差入保証金が３億55百万円増加したこと、㈱ほっかほっか亭総本部からの損害賠償請求訴訟に係る仮払金として13億39百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ５億80百万円増加し、229億円となりました。内訳は、流動負債が９億77百万円減少したこと及び固定負債が15億58百万円増加したことであります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が７億８百万円増加したこと、賞与引当金が２億27百万円減少したこと、未払法人税等が14億99百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の増加は、資産除去債務が２億62百万円増加したこと及び訴訟損失引当金が13億39百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、560億87百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により17億69百万円増加し、剰余金の配当により19億10百万円減少したことなどによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の連結業績予想につきましては、平成24年４月13日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,805	18,474
受取手形及び売掛金	3,058	3,096
商品及び製品	4,839	5,743
原材料及び貯蔵品	91	123
その他	2,781	2,762
貸倒引当金	△500	△452
流動資産合計	33,074	29,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,801	23,253
その他（純額）	9,353	9,916
有形固定資産合計	31,155	33,170
無形固定資産	494	460
投資その他の資産		
その他	13,800	15,627
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	13,781	15,609
固定資産合計	45,431	49,240
資産合計	78,505	78,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019	5,728
未払法人税等	1,611	111
賞与引当金	284	56
ポイント引当金	82	95
株主優待引当金	120	－
資産除去債務	8	28
その他	7,176	7,304
流動負債合計	14,303	13,325
固定負債		
訴訟損失引当金	－	1,339
資産除去債務	3,550	3,813
その他	4,466	4,421
固定負債合計	8,017	9,575
負債合計	22,320	22,900

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,922
利益剰余金	59,771	59,630
自己株式	△12,050	△12,050
株主資本合計	56,104	55,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△22
その他の包括利益累計額合計	△16	△22
新株予約権	96	146
純資産合計	56,185	56,087
負債純資産合計	78,505	78,988

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年11月30日）
売上高	93,321	105,094
売上原価	44,694	49,566
売上総利益	48,626	55,527
販売費及び一般管理費	44,162	51,091
営業利益	4,463	4,436
営業外収益		
受取利息	53	51
受取配当金	2	2
固定資産賃貸料	111	110
持分法による投資利益	4	7
その他	231	162
営業外収益合計	403	333
営業外費用		
固定資産賃貸費用	26	23
その他	35	20
営業外費用合計	61	43
経常利益	4,805	4,725
特別利益		
固定資産売却益	8	1
貸倒引当金戻入額	2	－
災害見舞金受取額	201	－
特別利益合計	212	1
特別損失		
固定資産処分損	78	104
減損損失	6	62
災害義援金等	174	20
災害による損失	213	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,643	－
訴訟損失引当金繰入額	－	1,339
その他	1	2
特別損失合計	2,118	1,529
税金等調整前四半期純利益	2,900	3,197
法人税等	1,321	1,428
少数株主損益調整前四半期純利益	1,578	1,769
四半期純利益	1,578	1,769

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,578	1,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△6
その他の包括利益合計	△7	△6
四半期包括利益	1,571	1,762
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,571	1,762
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	ほっともっと事業	やよい軒事業	しゃぶしゃぶダイニングMK事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高(その他営業収入を含む)	78,507	13,028	1,706	93,242	78	93,321	―	93,321
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	0	0	―	0	△0	―
計	78,507	13,028	1,706	93,242	78	93,321	△0	93,321
セグメント利益又は損失（△）	3,873	674	△23	4,524	16	4,540	△76	4,463

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。

２ セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成24年３月１日 至 平成24年11月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	ほっともっと事業	やよい軒事業	しゃぶしゃぶダイニングMK事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高(その他営業収入を含む)	87,653	15,191	2,246	105,091	2	105,094	―	105,094
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―	―
計	87,653	15,191	2,246	105,091	2	105,094	―	105,094
セグメント利益又は損失（△）	3,927	588	39	4,555	△2	4,553	△117	4,436

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。

２ セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度の第１四半期連結会計期間より、従来の商品の提供スタイルや内容等で区分していた報告セグメントを、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的に、「ほっともっと」・「やよい軒」・「しゃぶしゃぶダイニングＭＫ」の３ブランドによる事業展開に合わせて「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングＭＫ事業」へと変更いたしました。この結果、「持ち帰り弁当事業」を「ほっともっと事業」に、「定食事業」を「やよい軒事業」に、「その他」から「しゃぶしゃぶダイニングＭＫ事業」に係るものを区分掲記するように変更いたしました。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。